

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

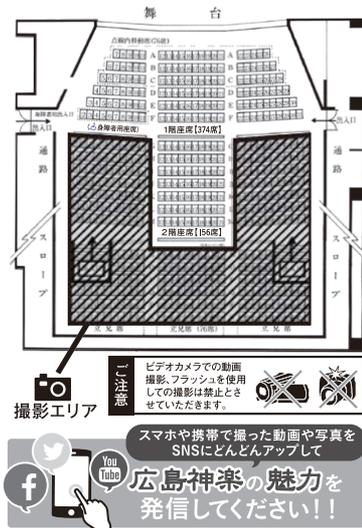
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



4月12日のタイムスケジュール

出演：鈴張神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『天の岩戸』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
（舞台へは靴を脱いでお上がください。）
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

すずはりかぐらだん

鈴張神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

鈴張神楽団は昭和26年に地元の方によって結成されました。

神楽団結成から、衣装や道具などは全て地元の方々の寄付によって揃え、毎年秋に行われる宮崎神社での秋祭りを中心に、
地元に根付いた活動を行っています。

今年になり、若い団員も増え、三度目の世代交代を迎えている今、神楽奉納を通して神楽に息づく先人たちの思いを受け
継ぎ、後世へと伝えていけるよう団員一同精進したいと思います。

第一幕『滝夜叉姫』（たきやしやひめ）

東の国の新皇を名乗った平将門（たいらのまさかど）は、天慶（てんぎょう）の乱で藤原秀郷（ふじわらのひでさと）・平貞盛（たいらのさだもり）の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫（さつきひめ）は、父の怨念を果たす為、貴舟（きふね）の社（やしろ）に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬（そうま）の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 橋原 慎也	大宅中将光圀 … 山中 数人	五月姫 … 竹迫 正棋
	小太鼓 … 橋原 義則	従 人 … 石川 昌士	（滝夜叉姫）
	手打鉦 … 大本 彩		夜叉丸 … 吉田 和哉
	笛 … 沖川 菜祐		蜘蛛丸 … 藪本 司

第二幕『天の岩戸』（あまのいわと）

太陽・天照大神（あまてらすおおみかみ）は、弟・須佐之男命（すさのおのみこと）のたび重なる乱暴を嘆かれ、天の岩屋へとお隠れになりました。すると天も地も常闇（とこやみ）となり、作物は枯れ悪神がはびこり不安な日々が続きます。

そこで、天の兒屋根命（あめのこやねのみこと）をはじめ、八百万の神々は、大神のおでましを願い天安河原（あまのやすかわら）へ集い、相談します。

神々は、知恵を絞って鏡や勾玉を作り、天鈿女命（あめのうずめのみこと）は踊り狂いました。

この騒ぎを不思議に思われた大神は、少し岩屋を開かれたのです。そして、それを待ち受けていた剛力・手力雄命は、岩戸を大きく開きました。この世に光と平和が戻ったのです。

天鈿女命の舞いが『神楽のはじまり』『日本の芸能のはじまり』といわれます。

日本人は古来、自然崇拝の暮らしを築いてきたことを伝える物語です。

【出演】	大太鼓 … 橋原 慎也	天照大神 … 吉田 和哉	天宇鈿女命 … 竹迫 正棋
	小太鼓 … 橋原 義則	天兒屋根命 … 石川 昌士	天手力雄命 … 山中 数人
	手打鉦 … 大本 彩	太玉命 … 藪本 司	
	笛 … 沖川 菜祐		